



神明中だより

令和元年6月25日

6月号

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

杉並区立神明中学校

教育目標 創造・鍛錬・共生

校訓 自主・自律

杉並区南荻窪2-37-28

思いやりの心

校長 山内 清一

5月25日（土）、晴天の下で体育大会が行われました。日差しの強い一日で熱中症が心配されましたが、無事終わることができました。

開会式では、「仲の良いことが原点。一致団結して競技や係活動に取り組み、自分たちの手で体育大会を作り上げ、頂点を目指してほしい」と伝えました。競技に取り組む真剣さ、最後まで諦めないで頑張る姿、進行をスムーズに進めるための係活動への取り組みなど、生徒達の生き生きとした姿を見ることができました。特に3年生は、下級生の良き見本となる素晴らしい結果を残してくれました。今年度最初の行事での生徒達の様子で、その後の一年間の学校の状態が決まるとよく言われます。その意味でも大成功であったと思います。ご声援・ご協力いただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

さて、5・6月は「いのちの教育」月間です。校長として、全校朝礼で「いのちの大切さや思いやりのある学校」について話をしました。中学校の教員をしていた腰塚勇人さんという方を紹介し、腰塚さんが立てられた「五つの誓い」で、「口・耳・目・手足・心」をどのように使おうとされているのかを紹介しました。

神奈川県の中学校で保健体育の先生でありバスケットボール部の顧問であった腰塚さんは、スキー場の事故で首の骨を折り、一瞬にして首から下が全く動かない状態になってしまいました。一生車椅子か寝たきりの生活になると思われましたが、4時間におよぶ手術と、その後のリハビリの成果で奇跡的に歩けるようになりました。その結果、勤めていた学校に現場復帰を果たすまでに回復しました。

現場復帰にあたって、腰塚さんは次の「五つの誓い」を立てました。

「口」は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう・・・

「耳」は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう・・・

「目」は人のよいところを見るために使おう・・・

「手足」は人を助けるために使おう・・・

「心」は人の痛みがわかるために使おう・・・

生徒の皆さんが、この「口・耳・目・手足・心」の使い方を心に刻んで、周りの人々たちへの思いやりの心をもって行動してくれることを願っています。

《5・6月のアルバム》

体育大会【5月25日（土）】



1年生普通救命講習
【6月5日（水）】

2年生職場体験【6月5日（水）～7日（金）】



3年生修学旅行【6月5日（水）～7日（金）奈良・京都方面】



ICT公開授業【6月22日（土）】



【6月の予定】

24（月）学年朝会・生徒評議員会

28（金）音楽鑑賞教室（2）

【7月の予定】

4（木）都学力調査2年

22（月）～夏季休業日始

6（土）学校公開・保護者会
（道徳授業地区公開講座）

三者面談始

22（月）～26（金）

12（金）地区班別集会⑥・漢検

パワーアップ教室

19（金）終業式

【8月31日（土）始業式】